

まめ科青刈

雪印が お奨めする 育成選抜品種の解説

雪印改良白花えんどう



雪印改良白花えんどう、えんばく、イタリアンライグラスの混播状況

主として麦類との混播に用いられる青刈用えんどうの多収品種を育成しようとした
(二) 選抜育成経過

マーベイ産エローヒーブ（飼料用品種）を
とし、これに加工用品種リトル・マーヴェイ
ルを組みとした交配育成種です。

(三) 特性概要(表参照)

えんばく、イタリアンライグラスの混播状況
遅く、利用期間長く、単作、混作
何れに於ても多収の優良品種です。
(四) 利用上の注意
青刈用雪印白花えんどうは寒冷
地では春まき、暖地では秋まき、
または春まき栽培されますが、单
播は稀で主として麦類、特に青
刈燕麦との混播が普通に行なわれ
ます。

(四) 利用上の注意

青刈用雪印白花えんどうは寒冷地では春まき、暖地では秋まき、または春まき栽培されますが、单播は稀れで主として麦類、特に青刈燕麦との混播が普通に行なわれます。

増収と高蛋白を狙った混播例（一〇%当たり）を示すと次の通りです。

オーストリアン・ウインター・ピースの試作成績

北海道、東北地方で、秋まきの出来る耐寒性青刈えんどうで、札幌附近で九月下旬乃至一〇月上旬播種、草丈約一〇吋程度で十分越冬し、五月中旬には草丈六〇~七〇吋で開花始に達し、寒冷地の水田、畑地の裏作に利用出来る赤花、褐色小粒種です。

(附) 寒冷地秋まき用青刈えんどう
オーストリアン・ワインターピー

(附) 寒冷地秋まき用青刈えんどう
オーストリアン・ワインターピース
北海道、東北地方で、秋まきの出来る耐寒性青刈えんどうで、札幌附近で九月下旬乃至一〇月上旬播種、草丈約一〇吋程度で十分越冬し、五月中旬には草丈六〇~七〇吋で開花始に達し、寒冷地の水田、畑地の裏作に利用出来る赤花、褐色小粒種です。

A black and white photograph showing a dense cluster of plants. The plants have small, rounded leaves and appear to be growing in a low, sprawling manner. Some taller, thin stems are visible, suggesting a mix of different plant species. The overall texture is somewhat chaotic and overgrown.

寒冷地で秋まきできる青刈えんどう
オーストリアンウインターピース

雪印改良白花えんどう特性概要表（春まき）
（上野幌育種場）

(上野幌育種場)